

会 議 録

会 議 名	第 2 6 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 1 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和 3 年 6 月 1 日（火）午前 9 時 3 0 分～ 1 1 時 1 5 分		
開 催 場 所	学習室 B		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員、 齊藤美恵子委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主任、伊藤修主事、永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者 数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会（5月19日開催）の報告</p> <p>2 令和3年度の講座等について</p> <p>3 企画実行委員連絡会について</p> <p>4 各講座の計画</p> <p>〔報告〕市民講座「オリンピック・パラリンピックの魅力と 聖火リレー」</p> <p>〔計画〕高齢者学級「けやき学級」、成人学校「ウクレレ入門 ーゼロから一緒に学びましょう」、成人学校 夏休 み伝統工芸体験「水引あわじ結びの金魚ちゃんのモ ビール」、市民講座「親子で社会科見学～浅川清流環 境組合～」、成人学校（仮）「ピラティスでリフレッ シュ」</p> <p>5 その他 なし</p> <p>次回の日程 令和3年7月6日（火）午前9時30分～ 学習室 B</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会（5月19日開催）の報告

(1) 報告事項

ア 都公連委員部会運営委員会について

令和3年度委員部会長は日野市公民館運営審議会委員が就任。委員部会研修会は小金井市公民館の企画実行委員制度、委託化、公運審の議事録のホームページ掲載について（案）が上がっている。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館から成人学校「春の植物観察」を提出。質疑なし。4月12日からの緊急事態宣言発出の影響した事業で、貫井北分館の図書館連携事業では講師が京都から出られないことから、結果、オンライン行ったことから、新しい実施方法として参考になるのではと委員からの意見があった。

ウ 新福祉会館管理運営計画策定委員会について

菅沼委員が出席。これから6回、管理運営について意見交換を行う。

(2) 協議事項

ア 主催事業の企画および運営方式の現状と今後について

前回に審議会でも小委員会を開いて検討していくこととなった前段として、事業係長、庶務係長と打ち合わせを行い、今後の進め方の案を作成。市民がつくる自主講座など市民参画の比率を増やす。準備会については、当面、子どもの人権講座、市民アカデミー、高齢者学級、花サポーター講座（貫井北分館）について行う。市民がつくる自主講座の拡大を図る。教育、研修については公民館手帳の改定、職員手帳、企画実行委員手帳の作成を行う。

(3) 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館からは、成人学校「ウクレレ入門を提出」。質疑なし。貫井北分館のフリースペース、貫井南分館の自習室活用の他、緑分館、東分館はどうかとの委員から質問があり、緑分館のフリースペースはまだ開放を考えていない、東分館は部屋が狭いことからまだ未実施との回答があった。

2 令和3年度の講座等について

センターまつりの開催に係るガイドラインを基に、飲食に関しては現状禁止であるが、11月開催の1か月前の状況で飲食及び出店部門の参加可否について検討する。また、スタッフ（出演者以外）の昼食については和室を食事会場とする。また、ステージ発表部門出演者の人数制限については、最大10人とする。入館人数の管理は館内の人数制限数として、各部屋の定員半数の合計とする。入館の際に、名札を付けてもらい退館の際に回収することを基軸とする。まつりの実行委員会を7月20日（火）1階集会室ABで開催予定。また、市民講座「太宰治を知る」について、三鷹市観光ガイド協会へ連絡したところ、現段階ではガイド要請については、保留とさせていただいたとの話があったため、日程を後へずらしながら計画を検討する必要があることとした。

3 企画実行委員連絡会について

貫井南分館が幹事を担当し、5月18日（火）午後2時から3時45分に開催し主催事業の紹介から情報交換、後半は中川庶務係長から公民館中長期計画の概要について講話頂いた。情報交換ではオンライン講座、コロナ禍での高齢者学級でのコミュニケーション不足、抽選方法について意見が交わされ、公民館の行方（社会教育施設として残す）、緑センター委託について野外調理場は諸課題の解決をみてからの委託となること等の確認を行った。また、ICT関連の技術的なものについては、IT関連に詳しいスタッフがいることで独善的に先行せず、5館共通の技術の推進が必要であることが大切であることの感想を貫井南分館委員は抱いた。

4 各講座の報告と計画

【報告】

○市民講座「オリンピック・パラリンピックの魅力と聖火リレー」

5月15日（土）は「オリンピックとパラリンピックの魅力」、22日（土）に「聖火リレーの意味と見どころ」として共に、午前10時から正午に真田久さん（筑波大学特命教授）に講義いただいた。応募20人、応募17人、延べ参加者29人で、参加率85%であった。オリンピックの起源、パラリンピックの始まり、近代オリンピックの歴史的背景、オリンピック開催の意義等貴重な話しを伺うことができた。また、講師の配慮から参加者の1964年東京オリンピックでの個々人のエピソードを出し合い、コミュニケーションが取れたことでより、有意義な講座となった。

【計 画】

○高齢者学級「けやき学級」

明日6月2日（水）の遠足は天候も良く、6月1日から江戸東京たても
の園再開となったことから、予定通りの実施となる。この後に学級生には、
実施と入館料について連絡することとした。6月7日には6月16日実施
のボッチャ体験の打ち合わせをボッチャ隊と行う予定。

○成人学校「ウクレレ入門—ゼロから一緒に学びましょう

1回目の5月23日（日）には受講者15人（男性4人、女性11人）
でスタートし、冒頭、参加者の自己紹介と持ち方から簡単な曲の練習、5
月30日（日）にはコード弾きの練習となった。担当者から2回目に参加
者が弾く音が1回目と比べ、上達しているように感じたとの感想があった。

○成人学校 夏休み伝統工芸体験

「水引あわじ結びの金魚ちゃんモビール」

前回は委員から話があったタイトルについて長いとの指摘から、夏休み
伝統工芸体験「水引あわじ結びの金魚ちゃんモビール」とした。

○市民講座「親子で社会科見学 ～浅川清流環境組合～」

8月20日（金）に午前9時にマイクロバスで市役所本庁舎駐車場から
出発し、午後0時30分に同所帰着で実施予定。市報7月15日号、月刊
こうみんかん7月号で募集、往復はがきで親子12人の募集とするが、中
には乳幼児同伴希望の場合に、バスの乗車定員カウントの考え方を確認す
る。マイクロバスは運転手を除き28人乗りとなるが、現状では半数での
乗車が条件となっていることは管財課担当から連絡を受けている。

○成人学校（仮称）「ピラティスでリフレッシュ」

東急スポーツオアシスにピラティス講師を問い合わせし、6月中旬ま
でに連絡が来る予定。講座内容について講師含めて、3日連続講習とする
か1日単体講習で3日参加者を多く受け入れるか、参加者年齢層をどう
するか等、担当企画実行委員と職員、講師を交えて検討を行う。

5 その他 なし

次回の日程（予定） 令和3年7月6日（火）午前9時30分から学習室B